

## 製品ラインナップ

用途	品名	製品コード	包装	状態	価格 (円/税抜)	貯法	使用期限 (製造後)
大腸菌・大腸菌群	XM-G寒天培地	05632	300g	顆粒	16,000	室温・防湿	3年間
		56228	400mL用×30包	顆粒(分包)	25,100		
【基本組成】							
	ペプトン	10.0g	リン酸一水素ナトリウム		2.7g		
	ビルビン酸ナトリウム	1.0g	硝酸カリウム		1.0g		
	L-トリプトファン	1.0g	ラウリル硫酸ナトリウム		0.2g		
	D-ソルビトール	1.0g	5-ブロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド (X-GLUC)		0.1g		
	塩化ナトリウム	5.0g	5-ブロモ-6-クロロ-3-インドリル-β-D-ガラクトピラノシド (MAGENTA-GAL)		0.1g		
	リン酸二水素ナトリウム	2.2g	カンテン		15.0g		
					培地1L分=39.3g	pH7.0±0.2	
大腸菌群	X-GAL寒天培地	05631	300g	顆粒	12,000	室温・防湿	3年間
		56226	400mL用×30包	顆粒(分包)	21,200		
【基本組成】							
	ペプトン	15.0g	硝酸カリウム		1.0g		
	酵母エキス	5.0g	ラウリル硫酸ナトリウム		0.15g		
	ビルビン酸ナトリウム	1.0g	5-ブロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-ガラクトピラノシド (X-GAL)		0.15g		
	塩化ナトリウム	5.0g	カンテン		15.0g		
	リン酸一水素ナトリウム	2.0g					
					培地1L分=44.3g	pH7.1±0.2	
黄色ブドウ球菌	X-SA寒天培地	51027	10枚	生培地(プレート)	2,000	4~10℃(禁冷凍)	4ヶ月
		56230	200mL用×30包	顆粒(分包)	26,800	室温・防湿	2年間
【基本組成】							
	ペプトン	13.0g	カンテン	14.0g			
	肉エキス	3.0g	選択剤	0.7g			
	硝酸リチウム	10.0g	発色酵素基質	0.3g			
	マンニット	10.0g	※生培地の基本組成は若干異なります。				
					培地1L分=51.0g	pH7.3±0.2	
<i>Cronobacter</i> spp.	XM-sakazakii寒天培地	05136	300g	粉末	24,500	室温・防湿	3年間
【基本組成】							
	ペプトン	15.0g	ビルビン酸ナトリウム	1.0g			
	酵母エキス	5.0g	トリプトファン	1.0g			
	塩化ナトリウム	5.0g	ラウリル硫酸ナトリウム	0.15g			
	リン酸一水素ナトリウム	2.0g	発色酵素基質混合物(2種)	0.2g			
	硝酸カリウム	1.0g	カンテン	15.0g			
					培地1L分=45.4g	pH7.0±0.2	
サルモネラ	X-SAL寒天培地	05140	300g	顆粒	16,000	室温・防湿	3年間
【基本組成】							
	ペプトン	18.5g	クエン酸鉄アンモニウム	1.0g			
	肉エキス	2.5g	クエン酸ナトリウム	1.0g			
	酵母エキス	1.0g	胆汁酸塩	2.0g			
	乳糖	10.0g	ニュートラルレッド	0.03g			
	白糖	10.0g	発色酵素基質	0.2g			
	L-リジン塩酸塩	5.0g	カンテン	15.0g			
	チオ硫酸ナトリウム	2.0g					
					培地1L分=68.2g	pH7.0±0.2	
腸炎ビブリオ	X-VP寒天培地	05135	300g	粉末	12,000	室温・防湿	3年間
【基本組成】							
	ペプトン	10.0g	ビルビン酸ナトリウム	5.0g			
	酵母エキス	5.0g	胆汁酸塩	3.0g			
	白糖	30.0g	選択剤	0.27g			
	チオ硫酸ナトリウム	6.4g	発色酵素基質	0.25g			
	クエン酸ナトリウム	10.0g	カンテン	12.5g			
	塩化ナトリウム	20.0g					
					培地1L分=102.4g	pH8.8±0.2	
セレウス菌	X-BC寒天培地	05134	300g	粉末	23,000	室温・防湿	3年間
【基本組成】							
	ペプトン	10.0g	マンニット	10.0g			
	肉ペプトン	15.0g	選択剤	0.01g			
	塩化ナトリウム	5.0g	発色酵素基質	0.15g			
	グリシン	10.0g	カンテン	15.0g			
					培地1L分=65.2g	pH7.0±0.2	

注) 培地の性能は、食材や夾雑菌の影響を受ける場合があります。  
最終判定は、他の検査結果等を併せて総合的に判定してください。

製造販売元


島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先: カスタマーサポート 担当

TEL: 03(5846)5707

URL: <https://corp.sdc.shimadzu.co.jp/>

食品・環境検査の情報Webサイト

 COSMOKAI™

皆様の会員登録を

お待ちしております

<https://industrial-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/>



 SHIMADZU  
Excellence in Science

# 発色酵素基質培地シリーズ

簡単・明瞭に判定できます。

大腸菌・大腸菌群用  
XM-G寒天培地

大腸菌群用  
X-GAL寒天培地

黄色ブドウ球菌選択分離用  
X-SA寒天培地

*Cronobacter* spp. 選択分離用  
(旧名 *Enterobacter sakazakii*)  
XM-sakazakii寒天培地

サルモネラ選択分離用  
X-SAL寒天培地

腸炎ビブリオ選択分離用  
X-VP寒天培地

セレウス菌選択分離用  
X-BC寒天培地

# 発色酵素基質培地シリーズ

## 大腸菌・大腸菌群用 XM-G寒天培地

### 特長

- 2種類の合成酵素基質（X-GLUC、MAGENTA-GAL）の処方により、大腸菌と大腸菌群を1枚の培地で明瞭に鑑別できます。
- 大腸菌、大腸菌群以外の菌は、発育を抑制されるか、発育しても発色しません。
- 大腸菌と大腸菌群の発育支持能に優れ、損傷菌の検出にも有用です。  
[培養時間：35±1℃で20±2時間]

- 発育例** 大腸菌：青色（青～青紫）のコロニー  
大腸菌群：赤色（ピンク～赤紫）のコロニー  
※大腸菌、大腸菌群以外のグラム陰性菌は、発育しないか、発育しても培地色～白色のコロニーを形成します。  
※β-グルクロニダーゼを保有・産生しない菌は大腸菌として検出できません。

## 大腸菌群用 X-GAL寒天培地

### 特長

- 合成酵素基質（X-GAL）の処方により、大腸菌群を効率よく、しかも明瞭に鑑別できます。
- 大腸菌、大腸菌群以外の菌は、発育を抑制されるか、発育しても発色せずに白色集落を形成するため、鑑別が容易です。
- 大腸菌群の発育支持能に優れ、損傷菌の検出にも有用です。  
[培養時間：35±1℃で20±2時間]

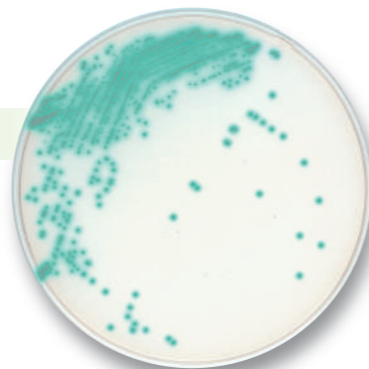
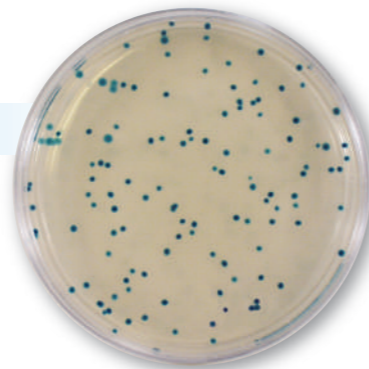
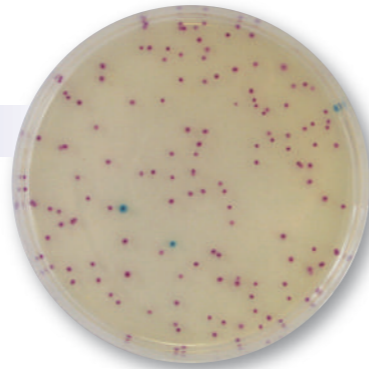
- 発育例** 大腸菌群：青色（青～青緑）のコロニー  
※大腸菌、大腸菌群以外のグラム陰性菌は、発育しないか、発育しても培地色～白色のコロニーを形成します。

## 黄色ブドウ球菌選択分離用 X-SA寒天培地

### 特長

- 黄色ブドウ球菌（*Staphylococcus aureus*）の判定が35～37℃、22～24時間の培養で可能です。
- 集落に色が着くため、簡単・明確に判定できます。
- グラム陰性桿菌、腸球菌、酵母様真菌の発育は抑制されます。  
[培養時間：35～37℃で22～24時間]

- 発育例** 黄色ブドウ球菌：青（水）色のコロニー  
コアグラールゼ陰性ブドウ球菌（CNS）：白色または水色の微小のコロニー  
※一部の*Bacillus*属菌が発育して水色の集落を形成することがあります。扁平上で光沢のない集落を形成しますので、グラム染色などで鑑別してください。  
※黄色ブドウ球菌の確定には、コアグラールゼ試験等の性状試験を実施し、同定してください。



## Cronobacter spp.選択分離用 (旧名 *Enterobacter sakazakii*) XM-sakazakii寒天培地

### 特長

- 2種類の発色酵素基質により、*Cronobacter spp.*と大腸菌群が同時に検出できます。
- 発色酵素基質による集落の発色により、簡単、明瞭に判定ができます。
- 33～37℃での培養が可能です。  
[培養時間：33～37℃で24±2時間、夾雑菌が多い検体は42～45℃で24±2時間]

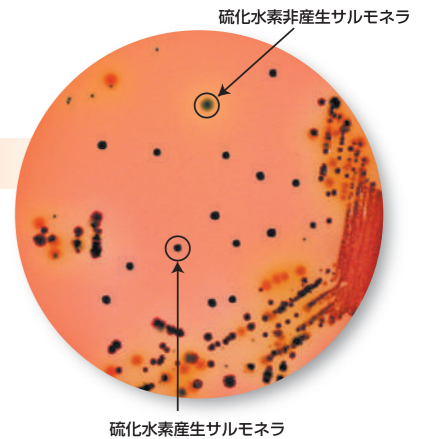
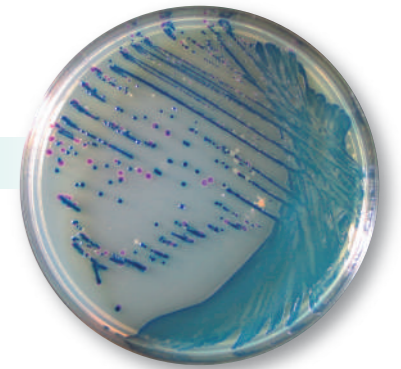
- 発育例** *Cronobacter spp.*：青～紺色コロニー  
大腸菌群：赤紫色のコロニー

## サルモネラ選択分離用 X-SAL寒天培地

### 特長

- 従来からの硫化水素産生による鑑別機能に加え、酵素基質の発色による鑑別機能を付加したサルモネラの選択分離用培地です。
- 1枚の培地で硫化水素産生サルモネラと非産生サルモネラを同時に鑑別することができます。このため、サルモネラの検出率を高めることができます。  
[培養時間：35±2℃で21±3時間]

- 発育例** サルモネラ：黒色～緑色の半透明コロニー  
（硫化水素産生株は黒色から深緑色、非産生株は緑色）  
サルモネラ以外（多くの腸内細菌）：ピンク～赤紫色のコロニー  
※例えば大腸菌群は赤色不透明集落（まれに酵素基質を利用し集落中心部が青色になることがあります）、  
プロテウスは褐色透明集落を形成します。

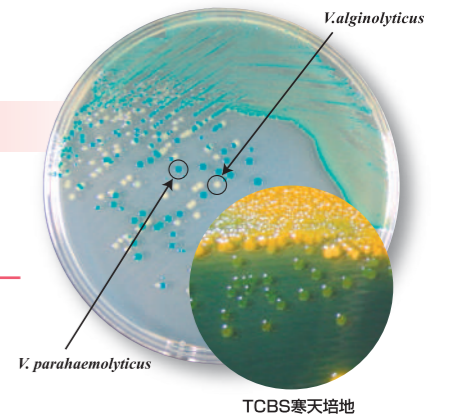


## 腸炎ビブリオ選択分離用 X-VP寒天培地

### 特長

- 鑑別は明瞭でTCBS寒天のように近接集落の影響を受けません。
- 大腸菌群やビブリオ属以外の菌は発育が抑制されます。  
[培養時間：35～37℃で18～24時間]

- 発育例** 腸炎ビブリオ（*Vibrio parahaemolyticus*）：青～青緑色のコロニー  
*V. vulnificus*, *V. cholerae*, *V. mimicus*：淡桃色～赤紫色のコロニー  
*V. alginolyticus*：発色せずに乳白色のコロニー



## セレウス菌選択分離用 X-BC寒天培地

### 特長

- 卵黄液を使用しないため、培地の調製が容易で培地作成時におけるコンタミネーションのリスクが軽減されます。
- ブドウ球菌属や腸球菌等大部分の菌種の発育が抑制されます。  
[培養時間：35±2℃で24±2時間]

- 発育例** セレウス菌：青～緑色のコロニー  
※一部のブドウ球菌は白色の微小集落を形成することがあります。

